

長 坂

希望の朝の陽が昇る

平戸市立生月中学校
学校だより 第8号
(令和2年 7月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

「コロナ禍」の中での教育活動の成果と課題 ～第1学期 終業式・31日間の夏休み～

4月6日の始業式、7日の入学式でスタートした本年度の第1学期が、本日、終了しました。今学期は、生徒と先生方、そして保護者や地域の方々という本校に関わる全ての方が、新型コロナウイルス感染症対策と教育活動の両立に、全力で取り組んだ学期でした。生徒の皆さんには、学校行事等の中止や変更、延期などで迷惑をかけて、ごめんなさい。一方で、検温や手洗い・手指の消毒、マスクの着用、三つの密の回避等、「新しい生活様式」に取り組んでくれて、本当にありがとう。学期始めにお願いした「自ら考え、判断し、行動する」ことの大切さを学んでくれたことでしょう。

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございました。臨時休業や新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校での教育活動は様々な影響を受けましたが、おかげさまで、無事に1学期の教育活動を、すべて計画どおりに実施することができました。また、「コロナ禍」への対応から、これからの「予測不可能な社会」を、力強く生き抜いていく子ども達に必要な資質・能力について、改めて考えさせられました。この経験を、これからの教育活動に生かしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

明日から、例年より短い31日間の夏休みに入ります。大切なお子様をご家庭にお返しします。子ども達が、「自主」・「自立」・「自律」の三つの力を働かせて、有意義な夏休みを過ごしてくれることを期待しています。

『文化という架け橋』 ～第15回 平戸市「少年の主張」大会～

今月11日(土)に行われた大会に、本校から3年1組の村川詩織さんが代表として出場し、『文化という架け橋』と題して、国際交流や異文化理解について、自分の思いを発表しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を制限して市議会議場で行われ、一般の人向けにはWeb配信が行われました。当日は、学校でもパソコンを介して、先生方と発表の様子を視聴しました。例年と違った環境のなか、緊張しながらも、落ち着いて、堂々と自分の意見を発表しました。

結果は、見事、「優秀賞」を受賞しました。おめでとう!!



♪玄海に 波音高く ～第2学年 体験活動「生月中競漕船大会」～

去る28日(火)・29日(水)の2日間、2年生の総合的な学習の時間の一環として、館浦漁港において、「競漕船体験」と「生月中競漕船大会」を行いました。今年度はコロナ禍のため、地区の大会が中止になりましたが、『子ども達に競漕船の体験をさせてあげたい』、『競漕船体験を通じて、ふるさと生月の良さを感じてもらいたい』という館浦漁協の皆様のご厚意で、競漕船体験をさせて頂くことになりました。さらに、2日目には、正式な大会に準じて、生月中学校だけの「競漕船大会」を開催して頂きました。1日目は、競漕船についてのお話や、競漕船に乗船して櫂の扱い方を指導して頂きました。2日目は、6チームに分かれて、往復200mのコースで、タイムレースで予選を行い、その後、上位4チームで順位決定戦を行いました。決勝戦の様子は、後日、山田・館浦地区まちづくり協議会のHPにアップされる予定です。また、子ども達には記念として「タオル」を頂きました。【※訂正：「保護者配布用」の学校だよりでは、タオルの寄贈元を間違えて表記をしておりました。関係の皆様にお詫び申し上げ、訂正いたします。】

子ども達は、息を合わせて、一生懸命、櫂を操っていました。また、応援する生徒は、大声でクラスメートに声援を送っていました。その姿を目にして、地域の皆様のおかげで、貴重な体験をさせて頂いたことを、大変ありがたく、そしてうれしく思いました。本当にありがとうございました。

